

えりもしゃくなげ



教育委員会だより 発行者 教育長 川上松美

よい年でありますように

新しい年を迎えましたが、町民の皆様には「今年こそ」漁業や畜産、建設、商業等の繁栄を心から祈っております。

教育委員会では、今年も学校教育では児童生徒の健全な育み、社会教育では町民に心の潤いある事業の充実となるよう、全身全霊の精神で進めてまいります。今年もご理解ご支援をお願いいたします。

深く考え、やればできるえりもの子 小学6年生と中学生が考える ～進路講話〈未来えりも学〉～

12月8日にえりも中学校体育館で高校3年生4名が進路講話を行い、中学生130名と町内全小の6年生34名が耳を傾けました。

この取組は連携型中高一貫教育の一環で、4名はそれぞれ自分の進路選択の理由や推薦入試やAO（複数の面接試験）試験での合格までの取組を後輩たちにしっかりと語りました。

えりも高3年生28名の12月上旬の進路内定状況は、進学希望18名のうち国立・私立大学名や専門学校が13名、就職希望10名中10名がえりも町役場2名、浦河町役場、えりも漁協2名、日高信金等に内定しています。

また、進学では室蘭工大の内定や、講話の

最中には、北海道教育大学釧路校内定の朗報が届きました。



先輩の話に真剣に聴き入る中学生と6年生

○札幌大学地域共創学群

歴史文化専攻へ進学する岩谷実咲さんは

「勉強と部活の両立は苦しかったが、毎日こつこつと勉強し、アイヌ民族の小論文で合格できた。札幌では一人暮らしで奨学金制度を利用する。本をたくさん読むこと、今しか出来ないことに努力することが大切」

○札幌スポーツ&メディカル専門学校

スポーツ保育科合格の加藤優作君は

「保育士の道を選択した。合格率30%であったが先生方の指導のおかげ。やりたい事を見つけたら積極的にチャレンジしよう」

○帯広市の老舗銘菓店

柳月に内定の岩間園佳さんは

「先生の指導で面接練習に励み、希望する職場で働けるのはうれしい。面接にはあいさつと言葉遣いが大切」

○浦河町職員に内定の中村尚貴君は

「町職員一次試験では、考える力が必要。学校で学習したことの復習と模擬試験を受けること。面接試験では、あいさつと言葉遣いが重視されるので、普段から先生とはきちんとしたあいさつをしよう。浦河町は日高管内の中心地、東部3町の連携も考えて役に立ちたい」とそれぞれが抱負を述べました。



進路指導部長の濱谷 稔先生と
岩谷、加藤、岩間、中村先輩

進学や就職するのは一筋なわではいけない

えりも岬小6年 角鹿央陸

僕は今回の経験を通して勉強になった事があります。一つは、就職と進学についてです。僕は知識がないので就職と進学は同じだと思っていたけど、進路指導部長の先生が詳しく教えてくれたので理解できました。また、高校生の皆さんが進学するには、面接を受けたり毎日絶やさず勉強するなど、進学や就職するのは、一筋なわではいけないと改めて感じました。



受験の体験を伝える岩谷実咲先輩

**毎日こつこつ勉強することが大事
えりも小6年 佐々木ゆづき**

私は進路講話に行って話を聞き、頑張ろうと思ったことが三つあります。

一つ目は、一度にまとめて勉強するのではなく、毎日こつこつ勉強するという事です。私は今まで、あまりこつこつとはしていませんでしたので、これからは、家庭学習で6年間学習したことを毎日こつこつやっていきたいと思いました。

二つ目は、読書をするということです。普段はチャレンジカード週間しか読書をしていませんでしたので、毎日少しずつでも本を読もうと思います。

三つ目は、あいさつを自分からすることです。今は、校内では自分からあいさつができています。でも、校外では、自分からあいさつはあまりできていません。これからは、地域の人たちなどにも、あいさつできるようにがんばりたいです。今、生活専門委員会としてあいさつに力を入れているので、それを活かしていきます。

岩谷先輩



大学を受験する自分の気持ちや両親との話し合い、先生方に面接指導を受けたこと、今後に関わる3つの心構えなどについて話してくれました。

加藤先輩



進学道を2つに絞り、途中で両親とも相談して学校を決めた、多くの先生に協力してもらい、先生や家族に感謝しているなどを話してくれました。

岩間先輩



なぜ、柳月に決めたか。それは社員の皆さんがお客様を大切に誇りを持って働いている姿に憧れ、目標が変わって入社試験を受けたこと、また、先生が一番力になってくれたことなどを話してくれました。

中村先輩



公務員を目指した理由や、そのための対策として試験科目の内容や面接への取り組み方、また、今後、中学・高校生活の過ごし方、準備しておくことなどを丁寧に話してくれました。

**進路の決定は、もう遠い話ではない
えりも中2年 山内我空**

僕は、今日の進路講話を聴いて、特に印象に残ったことは二つあります。

一つは学習についてです。僕はそのままだったら役場に就職したいと思うので、今よりもっと頑張ろうと思いました。得意分野と不得意分野の差がかなり僕は激しいので、冬休みなどの長期休暇を有効に使おうと思いました。

二つ目は、人と関わることです。僕は、そこそこな人見知りなので、面接では苦労するだろうなと思いました。なので、皆さんが話していた、人とたくさん関わったり、行事に積極的に参加しようという思いが強くなりました。

進路についての決定は、もう遠い話ではないので、早めのうちに考えたり、家族などと相談して決めようと思いました。

**やりたいことをするために
えりも小6年 古海宏樹**

ぼくは、進路講話でこれから進学したり、就職したりする人の話を聞いていて、ずっと前から進路が決まっていたわけではないということに気がきました。

また、自分に合った仕事を見つけることが大切と知り、時間がかかってもいいから、自分に合った仕事を見つけたいと思いました。

ぼくは、将来ゲームクリエイターになりたいと思っています。今回、進路講話で話を聞いて、自分に合った仕事がしたいと本当に思いました。だから、ぼくはこれから先、どんな仕事がしたくなくてもできるよう、中学校や高校では勉強もスポーツも人一倍がんばろうと思います。